

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	薬理学 II		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	薬業科2年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	水口博之	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
薬は標的分子に作用してその薬理作用を発揮します。薬理学Iでは標的分子を中心に学習しましたが、薬理学IIでは、病気を中心に薬がどのように作用することで病気を治すのか、また、副作用はなぜ起こるのかについて学んでいきます。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テストと出席状況による						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 医学書院						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習をしっかりと行なってください						
《履修に当たっての留意点》						
出席を大切にしてください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる		薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行う
		各コマにおける授業予定	抗炎症薬、関節リウマチ治療薬、痛風治療薬			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬についてその作用機序及び副作用について理解できる		薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	体制神経に作用する薬物: 自律神経作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬、統合失調症治療薬、抗うつ薬・気分安定薬についてその作用機序及び副作用について理解できる		薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	中枢神経系に作用する薬物1 全身麻酔薬、催眠薬・抗不安薬、統合失調症治療薬、抗うつ薬・気分安定薬			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病治療薬、抗てんかん薬、アルツハイマー治療薬、偏頭痛治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる		薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	中枢神経系に作用する薬物2 パーキンソン症候群治療薬、抗てんかん薬、アルツハイマー治療薬、偏頭痛治療薬			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	降圧薬、狭心症治療薬、心筋梗塞治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる		薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	降圧薬、狭心症治療薬、心筋梗塞治療薬			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全治療薬、抗不整脈薬についてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	心不全治療薬、抗不整脈薬		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	利尿薬、頻尿治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	利尿薬、頻尿治療薬		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脂質異常症治療薬、喘息治療薬、鎮咳薬、COPD治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	脂質異常症治療薬、呼吸器系疾患治療薬(喘息治療薬、鎮咳薬、COPD治療薬)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液凝固薬、血栓溶解薬、貧血治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	血液系に作用する薬物(血液凝固薬、血栓溶解薬)、貧血治療薬		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化性潰瘍治療薬、制吐薬、下剤、止瀉薬についてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	消化性潰瘍治療薬、制吐薬、下剤、止瀉薬		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ビタミン、視床下部・下垂体系ホルモン、甲状腺疾患治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	ビタミン及びホルモン1 ビタミン、視床下部・下垂体系ホルモン、甲状腺疾患治療薬		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨粗しょう症治療薬、副腎ホルモン、性ホルモンについてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	ホルモン2 骨粗しょう症治療薬、副腎ホルモン、性ホルモン		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖尿病治療薬及び糖尿病合併症治療薬についてその作用機序及び副作用について理解できる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	糖尿病治療薬、糖尿病合併症治療薬		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習問題を通してこれまでに習った薬についての理解を深め問題を解けるようになる	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習問題を通してこれまでに習った薬についての理解を深め問題を解けるようになる。	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	総まとめ		